JIS原案等パブリックコメント実施リスト

注記
1: 意見及び異議受付期間は，令和8年11月11日～令和8年12月10日
2: 区分aは，JIS規格原案又はTS原案若しくはTR原案の別を記載
3: 区分bは，制定，改正の別を記載
4: 対応国際規格は，対応国際規格が判明している場合に記載

No	区分a	区分b	JIS規格番号等	JIS規格原案等の名称	JIS規格原案等の英文名称	JIS規格原案等の適用範囲	規定項目又は改正点	制定・改正に伴う廃止JIS	対応する国際規格番号及び名称	原案作成者	
1	JIS	制定		産業用ボイラーの給水，ボイラー水及び蒸気の質	Boiler feedwater, boiler water and steam quality for industrial boilers	この規格は，産業用ボイラーの給水，ボイラー水及び蒸気の質について規定する。	主な規定項目は，次のとおり。 ・適用範囲 ・引用規格 ・用語及び定義 ・一般事項 ・丸ボイラーの水質 ・特殊循環ボイラーの水質 ・産業用水管ボイラーの水質 ・産業用貫流ボイラーの水質 ・産業用ボイラーの蒸気の質 ・ボイラーに関わる水質の分析	B8223		一般社団法人 日本ボイラ協会	一般財団法人 日本規格協会
2	JIS	改正	A6513	金属製フェンス及び門扉	Fences and gates with metals	この規格は，主として敷地の区画に用いる金属製のフェンス及び門扉について規定する。	主な改正点は，次のとおり。 ・規格名称及び適用範囲について，製品の多様化に伴い，格子以外で構成された製品にも対応できるように，「格子」を削除し，「金属製（の）フェンス及び門扉」に変更する。 ・用語及び定義について，次の通り変更する。 －フェンスの自由柱式に柱の芯々寸法「L」を追加する。 －フェンスの種類のうち，「ブロックフェンス組込み式」を，「組込み式」に変更する。 ・性能について，品質保持のため，フェンス及び門扉の耐風圧性能を示す水平荷重性能（等分布荷重）を追加する。 ・寸法，材料及び検査について，規格利用者の利便性を考慮し，類似規格であるJIS A 6601（低層住宅用バルコニー構成材及び手すり構成材）などの関連規格との整合を検討する。 ・構造について，格子の内法間隔及び各部の隙間は，安全性への配慮から，幼児等の転落防止又は落下防止を目的とする場合の規定とし，「110mm以下」について，要求事項から「望ましい」という推奨事項の表現に変更する。 ・試験について，試験の実態との整合，規格利用者の利便性，耐風圧試験の追加を考慮し，次の通り変更する。 －水平荷重試験について，鉛直荷重試験と同様に，予備荷重を追加する。 －耐風圧性能を測定するために，フェンス及び門扉の水平荷重試験（等分布荷重）を追加する。 －衝撃試験について，砂袋の振り子長さを変更できるように検討する。 －開閉繰り返し試験について，製品の最大重量になるように検討する。また，試験回数について，JIS A 1530（建具の開閉繰返し試験方法）との整合を検討する。			一般社団法人 日本エクステリア工業会	一般財団法人 日本規格協会
3	JIS	改正	C4413	低圧蓄電システムの評価指標	Criteria for low voltage electrical energy storage equipment	この規格は，新品のリチウムニ次電池を用いた低圧蓄電システムの評価指標について規定する。	主な改正点は，次のとおり。 ・適用範囲において，市場の実態を踏まえニッケル・水素蓄電池を削除し，リチウムニ次電池を用いた蓄電システムに限定するとともに，これに伴う関連項目を削除する。 ・想定使用期間において，想定使用期間の算出方法を“蓄電システム製造業者による”としているが，より統一的・客観的に評価できるようにするため，算出方法を規定する。 ・評価指標において，蓄電池容量が実際に利用できる容量と優良誤認しないようにするため，“システム容量利用率”を規定しているが，“初期実効容量”の考えが浸透し優良誤認されにくくなったため，評価指標からシステム容量利用率を除外する。なお，“システム容量利用率”には温度による特性の違いも示す役割もあるため，これに代わる評価指標として“初期実効容量低温特性”を新たに規定する。 ・評価指標において，長期間使用した際の，蓄電池ユニットの劣化度合いを示す評価指標として“耐容量劣化性能”を新たに規定する。 ・評価指標において，災害などに対するリスクアセスメントとして，蓄電システムの安全に関する信頼性を機能安全に基づく分析によって確認することにしているが，個々の特殊使用状態として，“耐類焼性能”，“耐浸水性能”及び“塩水噴霧サイクル性能”について評価方法を新たに規定する。			一般社団法人 日本電機工業会	一般財団法人 日本規格協会
4	JIS	改正	C4414	家庭用低圧蓄電システムのラベル	Lavelings for low voltage electrical energy storage equipment for residential use	この規格は，主として家庭に設置する，蓄電池としてリチウムニ次電池を用いた低圧蓄電システムのラベルについて規定する。	主な改正点は，次のとおり。 ・適用範囲において，市場の実態を踏まえニッケル・水素蓄電池を削除する。 ・評価指標において，JIS C 4413で新たに規定する初期実効容量低温特性，耐容量劣化性能，耐類焼性能，耐浸水性能及び塩水噴霧サイクル性能をラベル表示項目に追加する。 ・評価指標において，JIS C 4413で規定したシステム充放電効率，初期実効容量低温特性及び耐容量劣化性能について，新たに10段階の多段階評価を導入しその評価を基にして星の数を表示する。 ・新たな多段階評価の導入及び新たな評価指標の表示追加に伴い，ラベルデザインを刷新する。			一般社団法人 日本電機工業会	一般財団法人 日本規格協会

JIS原案等パブリックコメント実施リスト

注記
1: 意見及び異議受付期間は，令和8年11月11日～令和8年12月10日
2: 区分aは，JIS規格原案又はTS原案若しくはTR原案の別を記載
3: 区分bは，制定，改正の別を記載
4: 対応国際規格は，対応国際規格が判明している場合に記載

No	区分a	区分b	JIS規格番号等	JIS規格原案等の名称	JIS規格原案等の英文名称	JIS規格原案等の適用範囲	規定項目又は改正点	制定・改正に伴う廃止JIS	対応する国際規格番号及び名称	原案作成者	
5	JIS	改正	E1304	鉄道用分岐器類の線形	Geometry of turnouts and crossings	この規格は，軌間1 067 mm及び1 435 mmの鉄道用分岐器類の線形のうち片開き分岐器，両開き分岐器，ダイヤモンドクロッシング及び乗越分岐器について規定する。	主な改正点は，次のとおり。 ・50PSレール用線形の削除 ・両開き分岐器（直線トングレール，滑節ポイント）の線形に関する規格値の追加 ・標準軌用分岐器線形の見直し ・現行規格による図面表示の修正および統一（寸法表示，図番号表示など）			一般社団法人 鉄道分岐器工業協会	一般財団法人 日本規格協会
6	JIS	改正	E1307	鉄道用分岐器類のガード－形状及び寸法	Guards for turnouts and crossings – Shapes and dimensions	この規格は，軌間1 067 mm及び1 435 mmの鉄道用分岐器のガードの形状及び寸法について規定する。	主な改正点は，次のとおり。 ・50PSレール用ガードおよび部材を削除する。 ・ガード用部材（座金，間隔材，床板など）に関する規格値を追加する。 ・現行規格による図面表示の修正および統一（寸法表示，図番号表示など）を行う。			一般社団法人 鉄道分岐器工業協会	一般財団法人 日本規格協会
7	JIS	改正	S1102	住宅用普通ベッド	Beds for domestic use	この規格は，住宅用普通ベッドについて規定する。	主な改正点は，次のとおり。 ・マットレス表地の性能に，ニット生地を想定した破裂強度を追加するとともに，試験方法に破裂強度試験方法を追加する。			全日本ベッド工業会	一般財団法人 日本規格協会
8	JIS	改正	S2075	家庭用ガス・石油温水機器のモード効率測定法	Measurement method of efficiency for domestic gas and oil water heater under standard usage mode	の規格は。ガス又は石油を燃料とする，主として一般家庭用の温水機器の標準使用モードを用いた効率の測定法について規定する。	主な改正点は，次のとおり。 ・附属書（規定）少人数使用モードを追加する。 ・附属書（規定）ふろ加熱温度による追だきのモード熱効率試験を追加する。			一般社団法人 日本ガス石油機器工業会	一般財団法人 日本規格協会
9	JIS	改正	Z1571	食品缶詰用金属缶の仕様（追補1）	Specifications for hermetically sealed metal cans for food and drink （Amendment 1）	この規格は，食品（飲料を含む。）の缶詰の容器として用いられる金属缶のうち，ツーピース及びスリーピースの円形オープントップ缶の仕様について規定する。	主な改正点は，次のとおり。 ・スリーピース食料缶の種類，寸法及び内容積を規定する表において，国内で生産が終了している3号缶，かに3号缶，マッシュルーム3号缶及びツナ3号缶の行を削除する。 ・スリーピース飲料缶の種類，寸法及び内容積を規定する表において，国内で生産が終了している211径500グラムスリーピース缶の行を削除する。 ・ツーピース食料缶の種類，寸法及び内容積を規定する表において，国内で生産が終了している307径170グラムツーピース缶の行を削除する。 ・対応国際規格の一つであるISO 1361が廃止されたため，序文，適用範囲及び附属書JAから，ISO 1361に関する記載を削除する。		ISO 90-1:1997, Light gauge metal containers－Definitions and determination of dimensions andcapacities－Part 1: Open-top cans ISO 10653:1993, Light-gauge metal containers－Round open-top cans－Cans defined by their nominal gross lidded capacities ISO 10654:1993, Light-gauge metal containers－Round open-top cans－Cans for liquid products with added gas, defined by their nominal filling volumes(MOD)	日本製缶協会	一般財団法人 日本規格協会
10	JIS	改正	Z8803	液体の粘度測定方法	Methods for viscosity measurement of liquid	この規格は，細管粘度計，落球粘度計，回転粘度計及び振動粘度計を用いた，液体の粘度，動粘度，粘度×密度，及び見掛け粘度の測定方法について規定する。	主な改正点は，次のとおり。 ・新規粘度計（スタビンガー粘度計もしくは回転粘度計の一種に分類される名称）による粘度測定方法を追加する。 ・共軸二重円筒形回転粘度計の測定方法における層流条件からのずれによる影響に関する補正において，テイラー渦が発生する限界角速度の式を修正する。 ・用語及び定義などに関して修正するとともに，計量トレーサビリティに関する最新動向を反映した修正を行う。			公益社団法人 計測自動制御学会	一般財団法人 日本規格協会
11	JIS	改正	Z8809	粘度計校正用標準液	Standard liquids for calibrating viscometer	この規格は，粘度計の校正に使用する標準液として用いるニュートン液体の炭化水素油について規定する。	主な改正点は，次のとおり。 ・標準液の種類を新たに1件追加し14種類とする。 ・動粘度及び粘度の概略値において，JS160000の温度30℃と40℃における値を追加する。 ・動粘度及び粘度の決定値において，決定値とする校正結果を提供する校正機関について，標準供給の廃止の方針である産業技術総合研究所を削除する。 ・安定度において，これまでの1年間の安定性に関する規定から，2年間の安定性評価のデータ実績に基いた規定内容に更新する。 ・解説に記載していた標準液のニュートン性を示す試験結果について，データの蓄積が進んできたので，利用者の実用範囲をカバーするよう，同性質を示す範囲を拡張させた最新結果としてJIS本体への参考データとしての記載も検討する。 ・用語及び定義などに関して修正するとともに，計量トレーサビリティに関する最新動向を反映した修正を行う。			公益社団法人 計測自動制御学会	一般財団法人 日本規格協会